

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば、我が願いも尽きん」と、弘法大師さまの残された、性靈集第八巻、高野山萬燈会の願文の中に記されていります。

お大師さまは、四恩（父母、国王、衆生、三宝の恩）に報いるため、虚空（宇宙）、衆生（いきとし生けるもの）のある限り、涅槃（悟りをめざす世界）の続く限り、私の願いも尽きませんと、申されていいます。そのお言葉は、お大師さまが、永遠に私達をお救い下さっているのであります。このご誓願を心に秘めて、お大師さまと同行二人で暮しましよう。

当山のご本尊は、延命楫取地蔵さまです。このご法縁によつて、益々幸福な人生の楫取が出来ますよう、心より祈り申上げます。

四国靈場第二十五番 津照寺

高知県室戸市
室津 2644

<四国八十八ヶ所靈場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

如実知自心

「実の如く自心を知るなり」この言葉は、真言宗の根本經典である大日經、しかも、第一巻である住心品に示されているのです。

弘法大師空海の処女作「三教指帰」に「云々：阿國大滝ヶ嶽に躋り攀じ、土州室戸の崎に勤念す、谷響きを惜しまず、明星來影す云々…」と

これは「求聞持の法」を、行場としての室戸で苦行されたことを知らしめるのみでなく、弘法大師入定までの内で、ただ一度の神秘的な体験である、宇宙との融合、一体同化を成得し、悉地成就され、人生の真相、密行の極致に到達したことを示すものもある。

青年空海のなやみ、苦行は尊くもありがたいお姿であったと思います。

「如実知自心」即ち自分を知ることのむつかしさ、自分を知った時のむなしさ、尊さ、そしてそこから生れてくる、生き方、全てが「明星來影」と云う体験の中に入っているように思います。

四国靈場第二十六番 金剛頂寺

高知県室戸市
元乙523

<四国八十八ヶ所靈場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

大自然への恩

地球上の全ての生類は大自然の偉大なる恵によつて生かされてゐる事は申すまでもありません。しかしながら我々人類は現代の科学万能の社会の中でやゝもすれば、尊い自然の恩を忘れがちになつてゐるのではないか。若き日の御大師様は四国の山河津々浦々にて苛酷な自然の中で厳しい御修業をなされ悟りを開かれたのであります。今年は御大師様御入定一一五〇年の御遠忌にあたります。そこでこの機会に今一度大自然への恩をじっくりと見つめなおすしてみようではありませんか。四国八十八ヶ所は御大師様の御遺徳に導かれながら身近に大自然への恩を感じ取れる靈場であります。

四国靈場第二十七番 神峯寺

高安 県町
知田

<四国八十八ヶ所靈場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

六つの心

おはようございます

と云う

はい

明るい心

すみません

と云う

わたくしがします

と云う

ありがとうございます

と云う

おかげとまで

と云う

素直な心
反省の心
奉仕の心
感謝の心
謙虚心

高野 知市 県町

四国霊場第二十八番 大日寺

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

少 欲 知 足

飢と貧困に苦しむアフリカやアジアの悲惨な国々を、TV等で見る時、我々は、かつてない程物の豊かな国で生活していることを認識する。しかもこのままで行くと「物に栄えて心で亡ぶ」ことになりはしないか。少年の非行暴力問題、離婚、職場、家庭等の人間関係に殺伐とした問題が多いのには驚く。豊かな生活を追求する余り、我々の祖先が大切にして来た、義理や人情、助け合い、相手の立場にたつての思いやる心の余裕を、現代人は失ってしまったのか。これらで人間の内面的なものに眼を向け、今持てる物を大切に扱い、足るを知る心、自然や神仏を拝むこと、毎日平和に暮らることに感謝する気持を養いたいものである。こんな狭い国土で、質素で堅実な生き方こそ日本人らしいのだ。と常々感じている。

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

報恩謝徳

御大師様の御教に我々信仰者の一人（が、身・口・意の修業をし、その上に報恩謝徳の行に入る事こそ悟りの一歩で有ると印れています。

報恩謝徳とは、先ず佛様への恩（如来様に救われた恩の深事に感謝する事で有ります）。次に社会への恩（一般社会での仕事や人ととの間に感謝して一日（が幸わせな生活が出来る事であります）。次に父母の恩（父母の長い年月の苦労を思い感謝して恩に報いる事であります）。我々一人（がこの教を心に靈場の御本尊様や御大師様に御祈願をこめて巡拝する事が現世利益に繋る事だと思います。何卒報恩謝徳の心を忘れる事なく、毎日（を悔いのない生活に御過し下さいませ。御大師様の御縁に依る又の巡拝を心よりお待ち申し上げます。

合掌

四国靈場第三十番 善樂寺

〈四国八十八ヶ所靈場会発行〉

高知市一宮2501
電話0888-45-4104

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

発菩提心・成仏国土

私たちひとりひとりが互いにつくし合い、生かし合い、よりよい淨らかな世界を造り出していくとする心を起す」これを「^{ぼつぼだいしん}發菩提心」といいます。

私たちは日常、様々な思いに駆られ、自分中心的な考え方をしています。しかし時に日々の生活を振り返り、自身の行いを省みると、私たちは互いに助け合い、そして生かされ合っているものであることがわかります。

私たちひとりひとりがこのような互いに生かし合い、つくし合う心を持ってよりよい世の中、社会を造って行く。それは、私たちの淨らかな心がこの世の中に仏さまの世界を現わししていくことに他ならないものであります。

四国霊場第三十一番 竹林寺 高知県高知市
五台山 3577

<四国八十八ヶ所霊場会発行>

弘法大師1150年御遠忌記念

人生は遍路なり

自性清浄なまことの心

「我が本来自性清浄の心は世間出世間において最勝最尊なり故に本尊という。」

これはお大師さまが万里の波涛を越えて中国に留学されてお師匠さんの惠果阿闍梨の教えを記された秘藏記という本に出ておるお言葉である。

自分の心の奥底にあるもとから清らかな明るい心はこの浮世の塵にまみれた社会においても悟りを求めて出家した世界においても最もすぐれたものであり最も尊いものである。だからこの美しい心は本より尊いから本尊様というのである。すでにこの白く清らかな信心（まことの心）を得て仏さまとなられた方々も最勝最尊の故に本尊さまという。さらにまだ悟ってはいなけれども凡ての人々の心の奥底に清く輝いているこの明るい心はどの社会にあっても最勝最尊であるこの意味において自心と仏心と凡ての人々の心とは平等平等なもの（三平等）であると述べられている。

四国靈場第三十二番 禅師峰寺

高知県南国市
十 市3084

<四国八十八ヶ所靈場会発行>